

あひこ

市議会定例会 2月21日(休)開会	2面
パブリックコメント	2面
Enjoy手賀沼! 出展者・ステージ出演者 募集	3面
すこやかちゃん 募集	4面
段ボールで作る恐竜チェア	4面
就学援助、特別支援教育就学奨励費 対象を拡大	4面
带状疱疹予防接種費用 助成	5面
運転免許証自主返納者 公共交通機関優遇制度	6面

発行/我孫子市 編集/企画総務部秘書広報課 広報室 〒270-1192 我孫子市我孫子1858番地 ☎04-7185-1111(代表) ㊚04-7185-1520

めるへん文庫

市内に居住していた児童文学作家の故・古登正子さんが、太平洋戦争後の焼け野原で見つけた古本に「文学賞」の文字を見つけ「いつか童話賞を作ろう」と抱いた夢を実現し、平成14(2002)年度にめるへん文庫を創設しました。子どもたちが創作活動に親しみ、豊かな感性を育むことで、成長に役立つ場となっています。

毎年6月～9月に全国の小・中学生、高校生から夢いっぱいオリジナル作品を募集しています。令和5年度は99編の応募の中から、最優秀賞「古登正子賞」の他、18編の受賞作品を選出しました。

☎ 教育委員会文化・スポーツ課 ☎04-7185-1601

古登正子賞『わたしたちのいえ』

石井ひかりさん(小学5年、我孫子市)

海が見えるまちに両親と住む小学3年生の双子、香と音色。新しく引っ越した家は、形が変わる不思議で奇妙な家だった。自分たちの感情が伝わっているかもしれない…と思った2人は、うれしい、悲しいなどで家がどう変わるか、さまざまな感情で実験した。そして気付いたのは、自分の気持ちと向き合っ

て生活することの大切さだった。
(あらすじ紹介 図書館長 穂村喜代子)

審査員のコメント

- 不思議な家を少しずつ受け入れる心の成長が、双子の妹の視点で書かれた臨場感あふれる物語です。
- 「感情で形が変わる床」という発想が見事です。自分がいらした時にどう対処するか、ヒントを与えてくれる物語です。
- 「穏やかに生きよう」という気持ちにさせてくれるすてきな作品です。
- 登場人物の心理描写、木や潮風の匂い・海の音の情景描写などの見事なハーモニーに、作者のこれからの可能性を感じます。

小学生の部

	作品名	作者(学年、市区町村)
1席		該当なし
2席	ゆめみるジンベエザメ	西原由翔さん(3年、我孫子市)
3席	天ぷらと猫のはちやめちや物語	生塩成海さん(5年、埼玉県所沢市)
	ナイス!!	杉本鈴奈さん(4年、長生郡長柄町)

中学生の部

	作品名	作者(学年、市区町村)
1席	雪山の兎	高成田渚さん(2年、東京都港区)
2席	We believe in future.	山崎奏さん(1年、我孫子市)
3席	人魚	文字優実さん(2年、神奈川県横浜市)
	私、すごいので	末廣優夏さん(3年、東京都荒川区)
	この夏の思い出は空に透ける	時田あかりさん(1年、我孫子市)
	君と僕	佐々木由宇さん(3年、東京都調布市)
	友達依存症	加藤晴乃さん(2年、愛知県春日井市)
	クロノア洋菓子店	大西一綺さん(2年、神奈川県横浜市)

高校生の部

	作品名	作者(学年、市区町村)
1席	とても普通の僕ら	鈴木優奈さん(3年、松戸市)
2席	桜咲く未来	関根楓華さん(1年、鎌ヶ谷市)
3席	カンニング	藤原聖さん(1年、大阪府箕面市)
	黒猫と少女	高島唯さん(3年、兵庫県宝塚市)
	音楽	上野香月さん(1年、東京都大田区)
	三つ目の芽	荒川智哉さん(3年、愛知県弥富市)
	わたしがおぼえてたのに	嶋田愛弓さん(3年、船橋市)

見る

受賞作品展

受賞作品を、黒澤颯子さん(元編集者・イラストレーター)が描いた、受賞作品集の表紙絵・挿絵と共に展示します。

☎ 2月25日(日)まで9時～21時(最終日15時まで)
㊚ アビスタ1階中央通路



聴く

朗読動画

古登正子賞、各部門1席の作品を市公式YouTubeで配信します。

配信開始日 2月25日(日)



▲市公式YouTube

読む

受賞作品集

第7～20集を販売しています。※令和5年度分を収録した第21集は2月下旬販売開始
販売場所 教育委員会文化・スポーツ課(水道局4階)、行政情報資料室(市役所本庁舎1階)
㊚ 500円



書く

ワークショップ「めるへん学校」

6月に、児童文学作家を講師に迎え、物語を作る楽しさを体験する「めるへん学校」を開催します。詳しくは市ホームページをご覧ください。



▲市HP